



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 6576

レジライニングV-30

1. 一般名 ビニルエステル樹脂塗料
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) FRP用樹脂として高度の耐食性と強度を有する。
 2) 密着性が良好で熱ショック、クラックや剥離を起こさない。
 3) 冬期でも短時間で良好な硬化塗膜が得られ、作業性が良好である。
 4) 日本下水道事業団の品質規格に対応している。

4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	主剤：18 kg、硬化剤：1~3%別添加			
色相	クリアー			
密度 (23°C)	塗料	1.13		
	揮発分	—		
粘度 (23°C)	3~5 ポイズ (リオン粘度計)			
加熱残分	100% (理論上)			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	硬化	8 時間	4 時間	2 時間
標準膜厚	—			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容			
下地処理	—			
調合法	主剤：100、硬化剤：1~3 (重量比)			
可使時間	5	20°C	30°C	
	60分	40分	20分	
洗浄シンナー	レジライニング洗浄用シンナー			
塗装法	塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗り		
	希釈率	—		
	標準使用量	0.20~0.55 kg/m ²		
	標準膜厚	—		
塗装間隔	温度	5	20°C	30°C
	最小	24 時間	12 時間	6 時間
	最大	7 日	7 日	7 日

注1) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

注2) 補強層・表面補強層の連続作業は可能です。

6. 施工上の注意

- コンクリート面のレイタンス、塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりかとまぐが硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使い尽くすこと。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間範囲以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラン等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工すること。
- 希釈剤は必ずレジライニング#50反応性希釈剤を使用する。他のシンナーを使用した場合、硬化不良を生じる。
- 塗装終了後の使用器具は直ちにレジライニング洗浄用シンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第5類第2種自己反応性物質 有機過酸化物
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- (1)安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。